

- 問1 日本の食料供給における豚肉の市場動向を分析する際、統計資料から読み取れる状況とその背景の組み合わせとして正しいものはどれですか。
(2015年 兵庫県公立入試 類似)
- 国内生産量が停滞し輸入量が増加している状況に対し、消費者は国産品の安全性を評価し、価格にかかわらず国産品を重視する傾向にある。
 - 意識調査において「国産品にこだわらない」とする回答が過半数を超えている状況に対し、輸入量を制限して国内生産量を無理に増やしている。
 - 国内生産量が輸入量を大きく引き離している状況に対し、消費者は品質よりも価格を重視するようになり、安価な国産品の開発が進んでいる。
 - 輸入量が減少傾向にある状況に対し、消費者は国産品よりも安価な輸入品を求める傾向が強まり、国内生産が追い付かなくなっている。
- 問2 1970年代から2015年にかけての日本の漁業生産量の推移において、全体の漁獲量が減少傾向にある中で、人工的な施設を用いて魚介類を成長させてから収穫し、長年にわたってほぼ一定の生産量を維持している漁業の種類を選びなさい。
(2019年 三重県公立入試 類似)
- 沿岸漁業
 - 沖合漁業
 - 遠洋漁業
 - 養殖業
- 問3 日本の主要穀物である米の収穫量において、新潟県に次いで第2位の収穫量を誇る北海道の稲作に関する説明として、最も適切なものはどれですか。
(2016年 山口県公立入試 類似)
- 温暖な気候を利用して年に2回米を作る二期作が行われている
 - 広大な土地を活用した大規模な機械化農業が行われている
 - 山がちな地形を活かした棚田での栽培が収穫量の大半を占める
 - 都市部への出荷を目的とした施設園芸農業が中心である
- 問4 大阪府や兵庫県を中心とする阪神工業地帯の大きな特徴として、東大阪市などの地域に代表される工場の形態について述べたものを選んでください。
(2023年 秋田県公立入試 類似)
- 広大な敷地を利用した大規模な自動車組み立て工場が集中している。
 - 国営の製鉄所を核とした重厚長大な産業が生産のほぼ全てを占める。
 - 内陸部の高速道路沿いに、IC（集積回路）などの先端技術工場が集積している。
 - 高い技術力を持つ中小規模の工場が数多く集まっている。
- 問5 世界の資源供給において、レアメタルが抱える課題や特徴についての説明として、正しいものはどれか。
(2025年 高知県公立入試 類似)
- 埋蔵地域が世界中に広く分散しているため、特定の国に頼らずどの地域からも安定して安価に輸入することができる。
 - 特定の国や地域に産出が偏っているため、産出国の政治情勢や輸出政策の変化によって、供給不足や価格高騰が起こりやすい。
 - 鉄や銅などのベースメタルと比較して、一度の採掘で大量かつ容易に確保できるため、国際市場における取引価格の変動がほとんど起こらない。
 - 他の金属に比べてリサイクルが極めて容易であるため、都市鉱山からの回収だけで、すでに日本国内の需要のすべてを賄うことが可能となっている。
- 問6 日本の漁業は、かつての「獲る漁業」から、人工的な管理を行う「育てる漁業」へとその比重を移しています。海や池にいけすやいかだを設置し、卵や稚魚から出荷に適した大きさに成長するまで一貫して人工的に管理する漁業の名称を選択してください。
(2019年 香川県公立入試 類似)
- 沖合漁業
 - 栽培漁業
 - 遠洋漁業
 - 養殖業
- 問7 エネルギー自給率が約8.3%にとどまっている日本において、将来の重要なエネルギー資源として注目されている「メタンハイドレート」に関する説明として正しいものはどれですか。
(2020年 鹿児島県公立入試 類似)
- アメリカや中国からの輸入に頼ることで、日本のエネルギー自給率を安定させるための新しい燃料である。
 - 二酸化炭素の排出を大幅に削減できるため、主に輸出用資源としてオーストラリアへ送ることが検討されている。
 - 日本国内の山間部で大量に採掘されており、既に日本のエネルギー自給率を大幅に引き上げている。
 - 日本周辺の海域に存在が確認されており、実用化によって日本のエネルギー自給率を高めることが期待されている。
- 問8 2008年から2015年にかけての日本における出入国管理に関する統計では、日本人の出国者数が1500万人前後でほぼ横ばいで推移する一方で、外国人の入国者数は2012年頃から急激な増加に転じ、2015年には約2000万人に達しました。この状況について述べた文として、正しいものはどれですか。
(2018年 佐賀県公立入試 類似)
- 外国人入国者数は2008年以降、世界情勢に関わらず毎年一定の割合で増加し続けている。
 - 外国人入国者数に大きな変化は見られないが、日本人の海外旅行離れによって入国者数が相対的に多くなった。
 - 日本人の出国者数が毎年一貫して増加し続けており、外国人入国者数を常に引き離している。
 - 外国人入国者数が急増した結果、2015年頃には日本人の出国者数を上回る状況となった。
- 問9 関東地方から東海、近畿、瀬戸内を経て九州北部に至る太平洋および瀬戸内海沿岸には、日本の主要な工業地帯や工業地域が帯状に集中して分布しています。この地帯を何と呼びますか。
(2026年 青森県公立入試 類似)
- 京葉工業地域
 - 中央構造線
 - シリコンロード
 - 太平洋ベルト
- 問10 鹿児島空港や熊本空港の統計データによると、入国者の大半を韓国、香港、台湾などの出身者が占めています。例えば、鹿児島空港における香港からの入国者割合（41.8%）や、熊本空港における韓国からの入国者割合（58.6%）は、全国平均と比較しても非常に高い数値です。これらの空港に見られる特徴的な状況の説明として正しいものを選びなさい。
(2019年 鹿児島県公立入試 類似)
- 国際定期便のほとんどが貨物輸送に特化しており、観光目的の旅客による入国者の割合は極めて低い。
 - 近年はアジア圏との結びつきが弱まっており、代わってオセアニア地域からの入国者が最も多い割合を占めている。
 - アメリカやヨーロッパなどの遠方から入国した人の割合が大きく、世界規模の国際ハブ空港として機能している。
 - 近隣のアジアの国や地域と国際線で結ばれ、そこからの入国者が全国平均より高い割合を示している。
- 問11 ある地方の町における年齢別の人口構成を調査したところ、15歳から64歳の人口の割合が51.8%であり、全国平均の65.9%や東京都の70.0%を大きく下回っていました。この統計から読み取れる、この町の人口構成に関する課題として正しいものはどれですか。
(2023年 福岡県公立入試 類似)
- 全国平均に比べて働く世代が多く、地域の税収が安定している。
 - 労働力の中心となる世代が少なく、高齢化が進んでいる。
 - 若年層の流入が激しく、学校の教室不足が深刻化している。
 - 乳幼児の割合が非常に高く、保育所の増設が求められている。
- 問12 「育てる漁業」には、大きく分けて「養殖漁業」と「栽培漁業」の2つの方法があります。このうち、養殖漁業と比較した場合の、栽培漁業の仕組みを説明した文として正しいものはどれですか。
(2021年 和歌山県公立入試 類似)
- 人工的に育てた稚魚を一度自然の海へ放流し、成長したものを再び漁獲する仕組み。
 - 外国の排他的経済水域内で、入漁料を支払って操業し、魚を育てる仕組み。
 - 大型の漁船を使って、日本の周辺海域で数日間にわたって魚を追い、網で捕らえる仕組み。
 - 海岸付近に防波堤を築き、天然の魚が集まりやすい環境を整えてから一斉に捕獲する仕組み。